

第14回 運営推進会議 議事録

令和5年3月11日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」		
開催日時	令和5年2月28日(月)		
開催場所	電話・文書での開催		
参加者	利用者 1名 利用者家族 1名 地域住民の代表 1名	知見を有する者 1名 地域包括支援センター 1名 事業所職員 1名	
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動		

会 議 録

1.運営状況

○介護度の内訳 令和5年1月31日現在 合計18名

要支援1:0名/要支援2:1名

要介護1:2名/要介護2:5名/要介護3:7名/要介護4:2名/要介護5:1名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は2件、ヒヤリハットは9件

事故報告 R4年11月21日 14時45分頃

【内容】爪切りの依頼あり、右足親指分厚い爪をカットする際出血となっていました。

【対応】止血の処置(5分間出血部位を圧迫止血しワセリン塗布しガーゼ保護)を行い経過観察した。

痛みの訴えはなかった。

送迎時にご家族へ説明し謝罪した。

肥厚爪(分厚い爪)や器具(ニッパー式爪切り)の取り扱いをしっかりと認識し、慎重にケアする。

また、ケアが困難と判断した場合は専門の医療機関を促す事も必要。

事故報告 R4年12月6日 14時50分頃

【内容】左小指変形爪をカットする際に皮膚を針穴程度の傷となっしまい出血となった。

痛みの訴えはなかった。

【対応】止血処置(止血後カットバン保護)で経過観察をし、送迎時に御家族へ謝罪した。

【今後の対応】変形爪等のカットの際は皮膚の損傷が起こらないよう十分に注意していく。

必要に応じて専門の医療機関受診を促す。

ヒヤリハット報告

○後方へ椅子があると思い込みそのまま座ろうとして尻もちをついてしまったが負傷には至らなかった。

○炊事担当者が体調不良で早退しご飯の準備が出来ていない事に気づくのが遅く、昼食時間が30分程度遅れてしまった。

○A様の歩行訓練中にB様が近づいている事に気が付かず、A様がB様を両手で押してしまったが転倒には至らなかった。

○補聴器使用の利用者様を未装着に気づかず帰宅させてしまい、ご家族からの連絡で気づき、直ぐに届けた。

○誤って脱衣所内棚の時計が落下した際に利用者様の右手に接触してしまったが、外傷には至らなかった。

○おやつレクで出来上がりを召し上がっている最中の利用者様の小指に熱いあんこが小指に付着してしまい軽度の火傷となってしまった。

○来所された利用者様が発熱で新型コロナ抗原検査陽性が発覚し、携わっていたスタッフ2名も感染してしまった。

○衝立を使用した際に、付近の利用者様の方へ倒れてしまい左肩に接触してしまったが、痛みや外傷には至らなかった。

○家族から爪切りの依頼があり、左足親指の肥厚爪(分厚い爪)をやすりで削った際に微量の出血となってしまう。

事故やヒヤリハットが発生した場合は、その都度情報共有し、対策を提案して実行できるように連携している。似たようなケースがあった事例に関しては、繰り返しのないよう勉強会や研修等を取り入れてスキルアップ向上に繋げていく。

3.活動報告

○手指の機能訓練として、山梨県マスコットキャラクター『武田菱丸くん』の壁面飾り展示物の作成
9～11月には、介護フェア作品として『武田菱丸使用許可書』を獲った上で色紙を小豆大サイズに丸めて色付けをした『武田菱丸くん』壁面飾りを作成。

○口腔機能向上サービスの実施(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:6名

○脱水予防対策(入浴時や発熱・血圧変動時:経口補水液・ポカリスエット等の提供)

○防災訓練の実施 (R4.10.4:震度5弱の地震とキッチンからの火災を想定した訓練)

4.感染症対策

新型コロナウィルス感染症防止に対する取り組みを様々行っている。

○お迎え時の体温測定(職員も毎日2回の検温、発熱時には出勤停止)

市からの通達にてスタッフの集中的新型コロナ抗原検査実施(R4.12月中旬から開始で2～3回/週)

○送迎車にフェイスシールド・マスク・体温計の常備

○来所時の手洗い・うがいの徹底とマスク着用の徹底

○入浴介助中の職員のマスクの徹底

○会話に伴う飛沫感染防止の為高さ約60cmのシールドカーテンの設置

○空気清浄機・エアドッグ・扇風機・窓開閉の調整にて常時換気

○午睡後には布団や枕の消毒、枕カバーの洗濯

○日中に2回と利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り他)

○排泄毎のトイレ消毒

○利用時間終了後に送迎車の消毒

○旅行後や県外から来た人と接触した場合には、PCR検査の実施

○職員の9割以上がワクチン接種終了済

5. 質疑応答

①令和4年9月にも同様のご質問 キャラバンメイト取得受講案内資料を頂き前向きに検討しましたが、をさせて頂き恐縮ではありますが 新型コロナ感染拡大が著明な状況で、スタッフや利用者様の感染に、地域の認知症高齢者への見守り 迄至ってしまい、チャンスが得られませんでした。3月13日からマスクに関連する質問をさせて頂きます 解禁や5月8日から感染法上の位置づけが2類から5類へ移行し、パンデミック前のように回復する事で、地域の方々や外部との交流を始め、チームオレンジを通して近隣の認知症の方やその家族に対する支援が実施できるようしていきたいと思っています。現時点では、挨拶運動や近隣の歩行者へのお声掛け、認知症に関する定期的な勉強会等を行っておりますが、今後、キャラバンメイトを取得する事により、地域社会での認知症高齢者やその家族が安心して暮らせるよう積極的に取り組めるようにしていきたいと思っております。

より重要となっております。今後の認知症高齢者への見守りや支援について貴事業所のお考えをお考えをお聞かせください。

②コロナ禍で対面開催ができない状況が続いております。書面送されている参加者(団体名等)はどなたでしょうか？差し支えなければご回答下さい。

構成員は、利用者とその家族、地域の代表者、南東包括支援センター、知見を有する者(某居宅介護支援事業所ケアマネジャー)の5名となっております。

6. 運営委員からの評価

(利用者)飲み物(ドリンクバーのメニュー)を増やして欲しい、お寿司(握りずし)を増やして欲しい、イベント食の回数や量を増やして欲しい。涼しい時はうどんやほうとうが食べたい。果物やとろてんも提供して欲しい。

(利用者家族)朝のお迎え、夕方の送りの際、必ず「元気?」「今日は寒いですね」等声をかけて頂きありがたいです。口下手の姉なので助かります。

コロナ感染の中、月単位での行事や季節に合わせたイベントありがたいです。外出の少ない姉、本当に喜んでいます。ドライブで桜・もみじ等目にして気分も一新できているはずです。運動会の玉入れ、豆まき等姉自ら様子を話してくれました。

体への気配りも本当に有難いです。足の浮腫み・爪・脇腹の痛み等、細部に亘ってお話して頂いています。特にコロナ感染の際、職員のみなさん、利用者の方々に多数ご迷惑おかけしました。深山さんには病院の手配、車の送りとすみませんでした。家で休養中も「どうですか、その後は?」と、度々声をかけて頂き恐縮しています。

「よつ葉」に行くのが本当に楽しいようです。お迎えの時間より早く行動しています。お忙しい中、大変なお仕事の中ですが、これからも楽しいイベントを宜しくお願いします。生活の中でお気づきの事がありましたら遠慮なくお話してください。

(地域の代表者)特にありませんが、ヒヤリハットを速やかに対応して大事に至らなかったからいいですが、お年寄りや怪我や事故が多いのでスタッフの皆さんが心を一つに対応して頂けたらと思います。

(知見を有する者)担当している利用者様のモニタリング等で日頃からデイサービスよつ葉さんへ訪問させて頂き、事業所の雰囲気は明るく楽しそうな感じを受けています。

コロナ休業等大変な状況であったと思いますが、休業期間は最低限で利用が継続できていたことは良かったと思います。また感染対策をしっかり講じて頂いているので、その後の休業に至らず、管理をしっかりできていることも安心して利用できると思います。

口腔機能対象者に対してのアセスメントと評価がしっかりできているので良いと思います。

ヒヤリハット、事故報告で爪切りの時の出血が2回報告されていたので、爪切りは家族から依頼される事が多いと思いますが、受診等を勧めながらされると良いと思いました。

利用者さんはデイサービスでのイベントを楽しみにしている方がほとんどですので、イベントも多く取り入れているので、楽しみがありとても良いと思います。今後は外出の機会を持って、今まで制限されていたことも再び楽しめるようになるように良いと思います。

今後も子どもから高齢者まで地域から愛される事業所として、運営されていくことを希望しています。

(地域包括支援センター)5、の今後の予定では、子ども110番の家等、地域にひらかれた施設として素晴らしい取り組みだと思います。今後も地域に開かれた施設としての運営引き続きをよろしくお願いいたします。

7.今後の活動

○地域の方(子供たちを始め保護者や住民の方々)に気軽に声をかけてもらえるような元気で

明るいデイにする

○積極的な挨拶運動の取り組み

○感染対策を継続しながら可能な限りの交流・行事等の参加

次回、運営推進会議は、令和5年8月の予定